

各教育委員会教育長 様
各学校（園）長 様
関係 各位

令和元年 11月吉日

大田区教育委員会教育長 小黒 仁史
大田区立田園調布小学校長 茂呂美恵子

平成30・令和元年度 大田区教育委員会 教育研究推進校

研究主題

かかわり合いで学びを深める ～意図を明確にした協働的学習を通して～



教育長 挨拶

教育長 小黒 仁史

本校は、平成30・令和元年度大田区教育委員会教育研究推進校として、「かかわり合いで学びを深める～意図を明確にした協働的学習を通して～」を研究主題として掲げ、実践的な研究を重ねてこられました。ここに2年間の研究をまとめ、その成果を発表していただくことに心より感謝申し上げます。

小学校学習指導要領解説総則編（平成29年告示）には、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」の一つとして、子ども同士の協働等を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」が示されております。意図を明確にした協働的学習の工夫を視点とする本校の研究は、来年度から小学校で全面実施となる学習指導要領と軌を一にした、大変価値のあるものです。

各校におかれましては、本校の研究を参考にいただき、自校の授業改善に生かしていただきたいと思います。

結びになりますが、本校の研究に際しまして、御指導・御助言をいただきました、東京学芸大学教職大学院准教授 細川 太輔 先生をはじめ講師の先生方に厚く御礼申し上げます。また、本研究に取り組みました田園調布小学校 茂呂 美恵子校長先生をはじめ教職員の方々、更に、本研究に御理解・御協力をいただきました保護者、地域、関係者の皆様に深く感謝申し上げ、挨拶といたします。

校長 挨拶

校長 茂呂 美恵子

本校は、平成30・令和元年度 大田区教育委員会教育研究推進校として、研究主題「かかわり合いで学びを深める～意図を明確にした協働的学習を通して～」の下、各教科等を対象に、日々の教育活動の質の向上に向け、教職員が一丸となって研究を進めてまいりました。

特に、目指す児童像「自分と異なる他者の考えやよさを理解し、かかわり合いで主体的に学びを深める子」の具現化に向け、ICT機器を活用し、問題解決的な学習や体験的な学習の充実を図り、友達同士のかかわり合いを重視した協働的学習を通して、児童の資質・能力の育成に努めてまいりました。指導のねらいを明確にし、単なるペア学習、グループ学習からの脱却を目指し、意図を明確にした協働的学習の在り方を追究したものです。

本校の研究を進めるにあたり、懇切丁寧な御指導を賜りました講師の先生方、大田区教育委員会の皆様から心から感謝申し上げます。

今、校内では、児童が友達のよさを積極的に見だし、相互に深め合い、高め合う協働的学習の充実を通して、学力の確実な向上と豊かな人間関係の伸長が育まれてきております。

教職員も「協働」により、「チーム田小」を合言葉に支え合いながら、自己変革をすすめる気概をもって学び続け、今後も全力で課題解決に取り組んでまいります。

大田区立田園調布小学校

〒145-0071 大田区田園調布2丁目31番16号

電話：03-3721-8907 ファクシミリ：03-3721-8908

研究構想図

教育目標

よく学び よくあそび よりよく生きる 田小の子

児童の実態

- 基礎学力、学習意欲が高い。
- 他者の考えのよさを積極的に受け入れた
り、互いに高め合ったりすることが十分で
ない。

教師の願い

- 児童同士がかかわり合いを通して多様な考
えに触れたり、考えを確かなものにした
りして、学びを深められるようにしたい。
- 他者のよさを受け入れ、互いに高め合
うよりよいかかわり方を身に付けさせたい。

研究主題

かかわり合いで学びを深める～意図を明確にした協働的学習を通して～

目指す児童像

自分と異なる他者の考えやよさを理解し、かかわり合いで主体的に学びを深める子

研究仮説

- ・意図を明確にした協働的学習を充実させ、交流を通して考えを深めさせることで、児童が個人で考え表現するよりも、より教科のねらいに迫ることができるであろう。
- ・『コミュニケーション力』、『思考力・表現力』、『再構成力』の3要素を伸ばすことで、自分と異なる他者を理解し、かかわり合いから学びを深める児童が育つであろう。

協働的学習に必要な3要素

⇒「コミュニケーション力」

友達の考えを受け入れたり、
自分の考えをすすんで伝えたりする力

⇒「思考力・表現力」

自分の考えをもち、分かりやすく表す力

⇒「再構成力」

学んだことから自分の考えを見直す力

※本校の協働的学習(『協働5種』)には位置
付かないが、3要素を育てる基礎となる、
「確認する伝え合い」を適宜実施している。

学びの深まり・相互理解

協働的学習の工夫

- 意図を明確にした協働の種類の見極め
- ⇒学びの質を高める話し合い活動

決める

つくる

見付ける

広げる

まとめる

- 協働を設定するタイミング
- 各教科の見方・考え方に即した視点による話し合い
- ねらいに即した形態の工夫
(ペア、トリオ、小集団、全体)
- 話し合い後の活動の明確化

研究の手だて

基礎研究・調査研究・授業研究を通して

授業研究

- 問題解決的な学習の充実
- 単元、1 単位時間の導入の工夫
- 考えを再構成する場の設定
- 明確なゴールの設定
- 学びの振り返りの重視 (『田小
ループリック』の開発 他)

学習過程

- ① 課題をつかむ
- ② 考えをもつ
- ③ 考えを表す
- ④ もう一度考え直す
- ⑤ 考えをまとめる
- ⑥ 振り返りをする
(学びを次に生かす)

学習環境

- 座席・学習形態の工夫
- ICTの活用
- 協働的学習の振り返りの活用
- ハンドサインの活用
- 学習に応じた『協働5種』の提示
- 『聞き方・話し方・話し合い名人』の掲示
- 1 単位時間の学習過程の掲示 他

II 研究の概要

1 研究主題と設定理由

『かかわり合いで学びを深める』

～意図を明確にした協働的学習を通して～

本校では、豊かな個性をもつ友達同士がかかわり合い、高め合えるようにするために、協働的学習に必要な児童にとっての3要素（『コミュニケーション力』、『思考力・表現力』、『再構成力』）を明らかにし、その育成のために、意図を明確にした協働的学習を効果的に授業に取り入れる必要があると考えました。また、児童一人一人に、友達のよさや新しい気づきを実感させることを通して、より豊かな人間関係を育み、学びの深まりを実感させることで目指す児童像に迫りたいと考え、研究仮説を立てました。

そこで、研究主題を「かかわり合いで学びを深める～意図を明確にした協働的学習を通して～」と設定し、各教科等で授業の質の向上に取り組んでいます。

本研究を通して、児童一人一人が主体的に協働的学習に取り組み、学びを深め、次も友達との学び合いを通して相互に高まっていきたいという思いを大切にした指導の工夫を積み重ねることで、研究主題に迫っていきたいと考えます。

◆これからの社会

グローバル化や技術革新が進み、予測が困難とされる未来は、これまでのように、先行モデルの模倣学習では解決困難な事例も生まれてきます。そのような社会では、基礎学力や知識・教養を基盤とし、他者との協働により解決策を創造する力が必要となってきます。

◆本校の児童の実態

基礎学力が高く、豊富な知識を習得しており、自分の考えを、根拠をもって説明することができる児童が多いです。しかし、授業の中で、自分と違う友達の考えのよさを積極的に受け入れたり、互いに高め合ったりすることは、十分ではありません。

2 組織

〈研究部会〉

【理論部会】

主に研究に関する理論を構築する部会

【学習環境部会】

3要素を育てる手だて、環境を整える部会

〈研究分科会〉

【国語科・体育科】

(1・6年)

【算数科・家庭科】

(5年、算数少数、家庭)

【理科・生活科・音楽科】

(2・4年、音楽)

【道徳科・社会科・図工科】

(3・4年、図工、栄養、養護)

◆分科会について

昨年度は、教師自らが研究したい教科を希望して4つの分科会を組みました。そうすることで、それぞれの専門性を生かし、より主体的に研究に取り組むことができるようになりました。今年度はその研究を基に学年ごとに教科を決め、よりその教科の特性を生かした協働的学習を実践しました。

III 意図を明確にした協働的学習の種類

協働的学習の意図

より効果的な協働的学習にするために、教師が協働的学習の意図を明確にもつとともに、児童にも「何のために、どのような話し合いを行うのか」を示していきます。

本校では、学びを深めるための対話のねらいを、次の5種類に整理しました。

学習の意図

- 学習課題
- 課題の解決方法
- 役割分担

「これに決めよう！」

具体的場面の例

- 練習方法を選んだり、作戦を立てたりする。
- 学習計画を立てる。
- 役割分担をする。
- 適切な解決方法を決める。
- 教材から考えたいことを決める。

決める

学習の意図

- 協働制作
- 協働演技
- 起案・企画

新しいものをつくり出そう

具体的場面の例

- アイディアを出し合い、1つの作品をつくり上げる。
- 現状から新たな課題をつくり出す。

つくる

「なるほど！」に出合おう

広げる

学習の意図

- 新しい方法を知る
- 視野や視点を広げる
- 批判的に考える

具体的場面の例

- 自分とは異なる解決方法や表現の仕方を見付ける。
- 異なった視点から考え方を見直す。
- 考察したことを比較する。
- 想像したことや感想を交流し合う。(国語科)
- 教材の登場人物の心情を通して、道徳的価値を多面的・多角的に考える。(道徳科)
- 会話を広げる。(外国語)

学びを深める

見付ける

「それいいね！」を見付けよう

まとめる

自分の言葉で整理しよう

学習の意図

- 考えを一般化する
- 結論を出す
- 論点を整理する

具体的場面の例

- 法則やきまりを発見する。
- 結論を導く。
- 合意形成をする。(学級活動)
- 動きのポイントをまとめる。(体育科)

学習の意図

- 共通点・相違点を見付ける
- 考えを関連付ける
- 考えのよさに気付く
- こつやポイントを発見する

具体的場面の例

- 書き方の工夫を見付ける。(国語科)
- 異なる時代の様子を比べて、変化を発見する。(社会科)
- 考え方にネーミングをすることによって、特徴をつかむ。(算数科)
- 動きを見比べて、技能のポイントを発見する。(体育科)